



4 地域全体がつながりを持つまち

①
自分たちの活動を見つめなおす

②
関係する団体どうしの連携を図る

③
より広い範囲でのつながりを持つ



4 地域全体がつながりを持つまち

1 自分たちの活動を見つめなおす

地域には、いろいろな団体があります。なかには、活動内容や活動している人が重複し、負担感を感じている人がいます。それぞれの活動内容を整理し、見つめなおすことで、役割が明確になるとともに、団体どうしの横のつながりが生まれ、参加しやすい活動になります。

現状と課題

- 1 西区では、自治会町内会への加入率が89.7%と高く（市平均87.0% 平成15年4月現在）、活動も活発に行われています。
- 2 一方、活動内容が多く、また、同じ人が複数の団体の役職を兼ねており、負担になっている人もいます。
- 3 団体からは、

- 民生委員児童委員の負担が大きく、担い手が育たない
- 地区社会福祉協議会と民生委員児童委員との役割を明確にした方がよい
- 自治会町内会では、新たな役員になる担い手不足が深刻だ

などという声が寄せられています。

課題解決に向けた取組み

団体は、役割を見直します。行政は、団体を支援します。

団体の取組み

すでに取り組んでいること

- 自分の団体の役割を見直し、役員になろうと思うよう働きかけます
- 👉 役員がやりがいを感じられるよう働きかけます
 - 自治会町内会は、役員の負担を減らし、区民のニーズにあった魅力ある自治会町内会活動を考えます
- 👉 団体の役割を見直す場があります

新たな取組み

- 自分の団体の役割を見直し、役員になろうと思うよう働きかけます
 - 民生委員児童委員は、業務を確認し、役割を明確にします
- 👉 役員がやりがいを感じられるよう働きかけます
 - 高齢者を支えるために、ふれあい会、友愛活動推進員、保健活動推進員、食生活等改善推進員などが連携し、民生委員児童委員とともに地域の行事などを協力しあう関係づくりを進めます
- 👉 団体の役割を見直す場があります



行政の取組み

すでに取り組んでいること

- 団体の役割を見直し、役員になろうと思うよう働きかけます
- ☞ 役員がやりがいを感じられるよう働きかけます
 - 団体に所属している人の相談など、活動を支援します（関係各課）
- 団体の役割を見直す場があります
 - 団体どうしの情報交換の機会を設けます（関係各課）

新たな取組み

- 団体の役割を見直し、役員になろうと思うよう働きかけます
 - 他の課が所管している団体の活動を把握し、担当している団体の役割を整理します（関係各課）
- ☞ 役員がやりがいを感じられるよう働きかけます
- 団体の役割を見直す場があります



2 関係する団体どうしの連携を図る

一つの団体が活発に活動するだけでは、区民一人ひとりの生活全体を支援することはできません。団体どうしが連携を図るとともに、お互いが情報交換できるような仕組みが必要です。

現状と課題

- 1 区内には自治会町内会や自主活動グループなど様々な団体があります。
- 2 現在は、団体どうしが連携する仕組みが少なく、各団体の意識によって個別に活動しています。
- 3 団体からは、

- 他の団体との連携が必要だと感じている
- 地域活動を推進していくためには、地域の団体とボランティアなどとの協力が大切。そのためには、お互いが知り合うことが必要だ
- 団体や学校、行政などと関係を持ち連携したいと思ったときに、団体の間を取りもつ仕組みが重要

などという声が寄せられています。

課題解決に向けた取組み

団体は、他の団体と積極的に連携をとり、一緒に活動します。行政は、団体の取組みを支援するとともに、連携の仕組みをつくります。

団体の取組み

すでに取り組んでいること

●他の団体と連携しようと思えるよう働きかけます

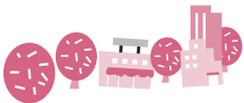
- 自治会町内会は情報を共有するため、PTA役員にも定例会に参加してもらいます
- 地区社会福祉協議会は、ふれあい会との情報交換や問題点の検討のため「ふれあい会連絡会」を開催します
- PTAは、地域の情報収集や問題の解決を目指し、町内会や商店街、行政、警察などに取組みを伝え、協力を呼びかけています
- 横浜駅西口振興協議会は、防災、防犯、暴力追放などの活動を地域や関係団体と協力して行います

👉他の団体と連携できるよう協力します

- 横浜駅東口振興協議会は、清掃活動やお祭りに自治会町内会と一緒に取り組んでいます

👉他の団体と連携する方法や場があります

- 民生委員児童委員、子ども会、老人クラブ連合会、地区社会福祉協議会の交流を目的とした地域交流会があります
- 地域支えあい連絡会や地区社会福祉協議会など、地域の課題を共有し解決していく団体があります
- 西区社会福祉協議会には、ボランティア部会があります



- '98「愛」ネットワークが主催する「サロンあい」（障害者など誰もが集える場）には、地域の高齢者や、お手伝いをしてくれる小学生が集まります
- 学校中心に地域の人と連携する、学校・家庭・地域連絡協議会や「まち」とともに歩む学校づくり懇談会があります

新たな取組み

●他の団体と連携しようと思えるよう働きかけます

- シャーロックBABYは、子育て支援を行う他のグループに講演に行き、自らの得意分野をいかして活動を広げます
- 障害者グループホームは、課題や悩みを抱え込まずに他の施設や人に相談し、つながりをつくれます

👉他の団体と連携できるよう協力します

- BuBuBuよこはまは、子育てグループどうしがつながった活動や子ども向けの活動を企画します

👉他の団体と連携する方法や場があります

- 民生委員児童委員は、ふれあい会のレベルアップのため、情報交換会を実施します
- 西区社会福祉協議会は、区内のボランティアのネットワークづくりを行い、グループどうしの情報交換をします
- 生活支援ネットワークは、生活の中で困っている声をまとめて、伝えていく仕組みをつくりまします
- 西区社会福祉協議会は、地域の課題にあわせた地域活動を実施し、魅力ある地域交流事業が開けるよう、地区社会福祉協議会などの活性化を図ります



行政の取組み

すでに取り組んでいること

●他の団体と連携しようと思えるよう働きかけます

- 介護保険制度のケアマネジャーの自主的な連絡会をつくり、高齢者の介護や医療に関する研修会を行います（サービス課）
- 民生委員児童委員や自治会町内会、保健活動推進員などの活動を支援します（地域振興課、福祉保健課）

👉他の団体と連携できるよう協力します

- 障害者団体、障害者地域作業所など関係機関のネットワークをつくりまします（サービス課）
- 開かれた学校づくりに向けて、教職員による区民講座や、余裕教室の活用などに取り組みまします（学校支援・連携担当）

👉他の団体と連携する方法や場があります

- 徘徊認知症高齢者を早期に発見、保護し、高齢者の安全の確保と家族の不安の軽減を図るため、地域の関係団体との連絡会を開催します（サービス課）

新たな取組み

●他の団体と連携しようと思えるよう働きかけます



👉 他の団体と連携できるように協力します

- 地域における子どもの課題を解決するため、学校・家庭・地域連絡協議会などで具体的な取組みを検討するよう支援します（地域振興課）

👉 他の団体と連携する方法や場があります



「計画策定の過程で、いろいろな立場の人と顔見知りになれて、自分のネットワークが広がりました。」

「積極的に地域の方々とふれあって、西区の皆さんと仲良くなれたら、多くの人と意見を出しあえるので、より良い未来の西区へつながる一歩になるとと思います。」



「みんなが地域や区のことを考えていることに感銘を受けました。今後も地域の核となり、そこで活動してネットワークをつくっていくことができたらと思います。私も自分の立場でみんなの意見をいかして、自分のできることをやっていきます。」



③ より広い範囲でのつながりを持つ

団体の役員や行政だけが頑張る活動ではなく、区民一人ひとりが自分の力で活動に参加することが、地域全体の活性化につながります。また、個人や団体をつないで、活動を広げるための人材育成も必要です。

現状と課題

- 1 地域で活動している団体は、地域の課題を一番身近に感じています。
- 2 「協力したい」と思っている区民、既存の団体やボランティア活動等をつなぐ役割が求められています。
- 3 団体からは、

- ボランティア活動をしている人や、したいと考えている人とのつながりが無い
- 自分たちの活動を地域の人や他の団体に広げて理解してほしい
- 他の団体や学校、行政などと連携したいときに調整役となるコーディネーターが必要だ
- 企業のボランティア活動を支援する仕組みが無い

などという声が寄せられています。

課題解決に向けた取組み

団体は、他の団体とつながりを持ち活動を広げます。行政は、団体の取組みを支援するとともに、個人と団体をつなげます。

団体の取組み

すでに取り組んでいること

- 団体の活動を他の団体にも広げるよう働きかけます
- 👉 活動が広がるよう、他の団体と協力しあいます
 - 自主活動グループは、地域活動の即戦力として活動します
- 👉 活動を他の団体に広げたり、支援をする仕組みがあります

新たな取組み

- 団体の活動を他の団体にも広げるよう働きかけます
- 👉 活動が広がるよう、他の団体と協力しあいます
 - BuBuBuよこはまは、子育て支援を行っている団体と協力し、子や親の求めている支援のあり方を考えます
- 👉 活動を他の団体に広げたり、支援をする仕組みがあります
 - 自主活動グループの支援など、自治会町内会や地区社会福祉協議会が、地域課題を共有し、お互いに協力しあう関係をつくります
 - 西区社会福祉協議会は、企業ボランティア制度について検討します



行政の取組み

すでに取り組んでいること

🍎 団体の活動を他の団体にも広げるよう働きかけます

🍃 活動が広がるよう、他の団体と協力しあいます

🍎 活動を他の団体に広げたり、支援をする仕組みがあります

- ボランティア活動に参加できるよう、参加方法、活動内容などを掲載したボランティア・地域活動便覧を作成します（福祉保健課）

新たな取組み

🍎 団体の活動を他の団体にも広げるよう働きかけます

🍃 活動が広がるよう、他の団体と協力しあいます

- 健康増進のため、医師会、歯科医師会、薬剤師会などと、専門的立場で連携します（福祉保健課）

🍎 活動を他の団体に広げたり、支援をする仕組みがあります

- 地域で活動している団体や活動したい区民をつなぐ、地域活動コーディネーターの役割を検討します（各団体を所管している全課）
- いろいろな世代の人が、立場や専門の垣根を超えて、互いの活動を語り合う中で、つながりあい、共にまちづくりをすすめていくような交流の場をつくります（福祉保健課）